

ロシアによるウクライナ侵略の状況（東部ドンバス正面等）（2022年7月12日時点）

- 現在、露軍は、「ウ」東部ルハンスク州全域を事実上占領、ドネツク州全域の占領を企図し攻撃を継続
- 「ウ」南部においては、「ウ」軍が各地の露軍の活動拠点を攻撃するとともに、領土の奪還に向けた攻勢を開始した模様



7月11日、「ウ」軍は、同10日にMiG-29戦闘機及びSu-27戦闘機の掩護の下、Su-25攻撃機及びSu-24戦闘爆撃機が露軍の指揮所、野外弾薬集積拠点、装備品その他を破壊したと発表

7月12日、「ウ」軍は、ヘルソン州域のドニプロ川の橋梁を砲兵火力によりコントロールできる状態にあるとし、これにより露軍の兵站到脅威を与えることができると主張した。

7月13日、「ウ」軍は、ヘルソン州ノヴォペトリウカの露軍の弾薬集積拠点を対地攻撃機2機により攻撃したと発表。



ミコライウ州における「ウ」軍による露軍への攻撃状況として公表された映像

7月13日、露国防省は、露航空宇宙軍機がドネツク州（露は「ドネツク人民共和国」と呼称）シーヴェルスクの「ウ」軍弾薬集積拠点を破壊したと発表

7月13日、「ウ」軍は、露軍がハルキウ及びその周辺のほか、ドネツク州北部スロヴィヤンスク、クラマトルスク、バフムート等で砲撃を継続していると発表

7月13日、露反体制派メディアは、「ドネツク人民共和国」のプシリン「首長」が、露側の捕虜となった「ウ」国家親衛隊アゾフ連隊（マリウポリ防衛に参加）の兵士を裁判にかける準備を進めている旨発言したと報道

7月12日、「ウ」軍は、同11日夜にヘルソン州ノヴァ・カホウカに所在する露軍の燃料・弾薬集積拠点を攻撃し、爆発が発生したと発表するとともに、同国南部における反転攻勢の開始に言及した。